

せいめい小委員会報告

2025年9月10日 光赤天連総会

せいめい望遠鏡の共同利用・共同研究及び研究交流等に関する専門的事項について審議する

メンバー (敬称略 ※ 委員)

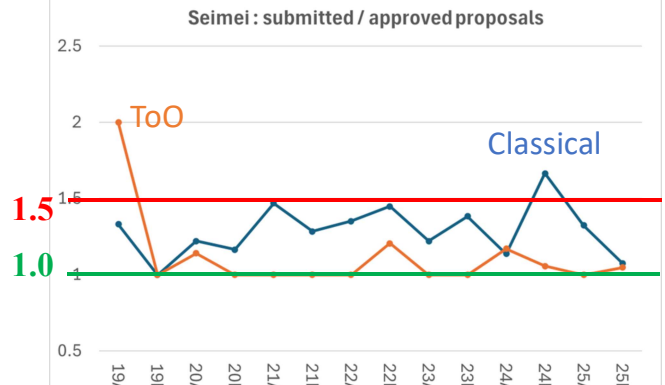
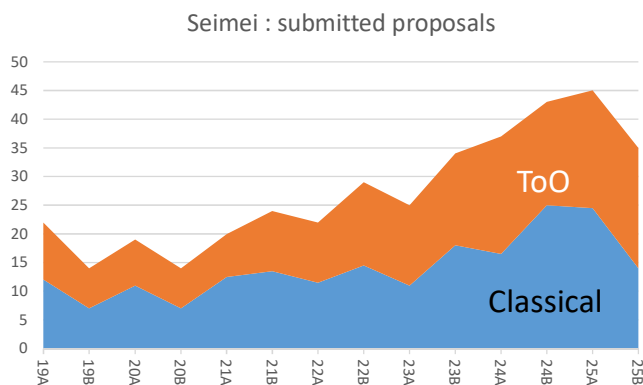
岩室史英(京大:委員長)※ 伊藤洋一(兵庫県立大)※ 小西美穂子(大分大)※ 志達めぐみ(愛媛大)※ 田中雅臣(東北大)※
鳥羽 儀樹(立命館大)※ 太田耕司(京大) 田實晃人(国立天文台) 前原裕之(国立天文台) 泉浦秀行(国立天文台)

- 2024年12月2-5日
 - ・ 2025A の共同利用はクラシカル24件(128.4夜)、ToO21件(内クラシカルを含むもの1件)(68.7夜)の応募があり、審査委員の採点を基にしてクラシカル18件(56.8夜)、ToO21件(41.4夜)を採択した。
 - ・ 2025A は夜数ベースでの倍率が低かったため結構低い順位の提案でも割付できた
 - ・ 188cm + HIDES (連絡先: 佐藤さん) が動き始めたら GAOES の提案夜数は少し減るかもしれない
 - ・ TriCCS スリット分光モードもキューシステム対応にした (KOOLS と同程度の観測効率)
 - ・ 現在の気象観測機器だけで完全自動化対応は困難なので、筒先カメラの情報も取り込むことを検討中
 - ・ エンジニアリング時間に複数課題を混ぜたリストを用いて **自動観測システムの試験を進める** 予定
 - ・ せいめいでの学生実習を京大DDT時間などで実施 (非公式)、**OISTER実習**は京大OISTER枠で実施
- 2025年6月30日
 - ・ 2025B の共同利用はクラシカル13件(100.5夜)、ToO22件(内クラシカルを含むもの2件)(74.65夜)の応募があり、審査委員の採点を基にしてクラシカル12件(54.25夜)、ToO22件(41.4夜)を採択した。
 - ・ 2025B は夜数ベースでの倍率が低かったためほぼ全ての提案に割付できた
 - ・ 今後のせいめい小委員会 **議事録** は TAC 以外の部分を **Web 公開** する予定
 - ・ **新しい観測装置の持ち込み** は京大のページに「問い合わせ先」があるが、その後の流れが見えていない。過去の事例 (TriCCS, GAOES-RV導入時など) をもとに、装置導入から共同利用に供するか否かの判断プロセス、メンテナンス体制まで **明確化** したい。
 - ・ 10/1 より委員2名が交代予定 (すばる科学諮問委員会で承認済)
 - ・ TriCCS と KOOLS では天候判断を含む **自動観測可能** でスクリプトを上回る利用率。GAOES はこれから。

プロポーザル推移

件数

倍率



夜数

倍率

